

SDGs ~ 誰ひとり取り残さない ~

SDGsとは「誰ひとり取り残さない」を理念として、国連で採択された、全世界で取り組む17の国際目標 (Sustainable Development Goalsの略称)

祇園祭はSDGs?!

エスティーゼー

今年、創始1150年を迎える

祇園祭は、
すべての人々の幸せと
全国の平安を祈って始まった。

～ 祇園祭の起源～

貞観年間(859年～877年)は、
越中越後地震、富士山や阿蘇山の噴火、播磨国地震など**災害が多発!**
とりわけ、貞観地震(869年)と言われる大地震と津波は
8年前(2011年)の東日本大震災と同じ地域で発生した。
八坂神社社伝によると、その貞観地震からまもなく、
帝の命によって**66本(当時の日本の国の数)**の矛を立て、
全国の平安と疫病の治まりを祈り、
神泉苑に神輿が送られた御霊会が祇園祭の起源とされる。
平成の時代も、阪神・淡路大震災、東日本大震災をはじめ、
国内外で自然災害、地球温暖化・格差・貧困・紛争が絶えなかった。
祇園祭の創始の理念と千年を超えて継続されてきた人々の想いは、
国連が採択したSDGsの理念「誰ひとり取り残さない」と
軌を一にするものと考え、地球温暖化などの環境問題も踏まえて、
世界の人々の幸せと平和を願い行動しようという取組が、
今京都で始まっています。



これって
「誰ひとり取り残さない」の理念の下、
「すべての人に健康と福祉を」
「質の高い教育をみんなに」など、
17の目標へ向けてすべての人が行動しようとする
SDGsに通じるものがあるね。

多くの祭礼が
災難からスタート
しているんだよね。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

「全国市区・持続可能度・SDGs先進度調査」において、
京都市が**全国1位**に輝きました。

人口減少を含むあらゆる危機に備え克服し、京都創生、SDGs、レジリエントシティ
(しなやかに強く、持続可能な魅力あふれる京都)の達成に、「ひとごと」ではなく、
「自分ごと」、「みんなごと」として取り組んでまいりましょう。

京都市情報館 SDGs 検索 | 京都市情報館 レジリエント 検索



エスティー・ジーズ
SDGs ~誰ひとり取り残さない~

SDGsとは「誰ひとり取り残さない」を理念として、国連で採択された、全世界で取り組む17の国際目標 (Sustainable Development Goalsの略称)

歴史に**学び**、今を見つめ、
未来を**デザイン**、
市民ぐるみで**行動**



受け継がれてきた
市民ぐるみの取組が
SDGsに
つながっています！

祇園祭が実はSDGsの理念に通じるものだったように、SDGsという国際目標が登場する前から、京都では「誰ひとり取り残さない」という思いの下、未来を見据えた様々な取組が市民ぐるみで行われてきました。

長い歴史の中で、先人が願い、並々ならぬ努力で積み重ねてきた行動は、あらゆる危機にしなやかに対応するとともに新しい風を取り入れ、京都の発展につながってきました。今の京都のまちに受け継がれてきた「レジリエンス」(*)の力になっています。

17のゴールを知り、きちんと意識することで、世界を良くするためのもっと大きな力になります。市民や事業者の皆さん主体の新しい取組も続々と始まっています！

(※)「レジリエンス」

様々な危機から回復し、ダメージを受けても粘り強くなり、元に戻りながら以前よりもより良く立ち直る状態を表現しています。あらゆる危機に備え、乗り越え、将来にわたっていきいきと暮らせる、魅力と活気に満ちたまちを目指して、皆さんにとっての「レジリエンス」を考え、行動してみましよう。

しまつのころ

食べ残しの宣言のステッカー



「しまつのころ」とは、いのちや資源、それを生かす作り手の皆さんへの感謝のころから生まれてくる考え方で、「無駄遣いしない」「儉約・節約する」という意味で用いられます。

この考え方は、季節の食材を余すことなく使い切る京都の食文化などにも息づいています。



京都市では早くから市民ぐるみの取組を続けてきた結果、ごみの量やエネルギーの消費量をピーク時から大幅に削減できました。受け継がれてきた「しまつのころ」が生きているんですね。

【ごみの量】

82万トン (2000年度)

↓
41.3万トン (2017年度)

ピーク時から
半減

【エネルギー消費量】

104,201TJ (テラジュール) (1997年度)

↓
75,833TJ (テラジュール) (2016年度)

ピーク時から
3割減

地域ぐるみのはぐくみ



町衆がお金を出し合い、日本初の「番組小学校」を創設した歴史や、子どもたちの健やかな成長を願う地蔵盆など。

京都には、社会の宝として子どもたちに未来を託してきた人づくりの伝統があります。



「地域の子どもは地域で育てる」との思いのもと、一人ひとりの子どもを徹底的に大切に教育を地域・保護者と共に推進し、全国最多となる245校園で学校・家庭・地域が学校運営協議会を組織しています。

子どもを共にはぐくむ京都市民憲章(京都はぐくみ憲章)10周年の平成29年には「子ども若者はぐくみ局」を市役所に創設、区役所・支所に「子どもはぐくみ室」を設置するなど、子育て・教育環境日本一のまちづくりのための体制を強化しています。

【全国学力・学習状況調査】

政令指定都市 1位

(文部科学省調査による平成30年度「全国学力・学習状況調査」の市立小学校の実績)



「京都・地域企業宣言！」
~地域と共に継承・発展する「地域企業」を目指して~



規模を基準とする中小企業ではなく、地域と共に継承・発展する「地域企業」として、経済の発展だけではなく、地域の文化、安心安全、そして、未来を創造し、持続可能な社会のモデルを作っていく。そのような力強い思いを含め、昨年9月、市内の多様な業種の若手経営者による「京都市地域企業未来力会議」が「京都・地域企業宣言」を策定しました。まさにSDGsの実践につながる宣言です。

これをもとに、本年3月、市会において全会一致で「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」(*)が制定されました。

あなたの取組が
SDGsに
つながっています！

公園体操で健康づくり

地域コミュニティの活性化、安心安全、防災、子育て支援にもつながります。

打ち水で涼しく
少し早起きして歩いて
バス・鉄道で通勤

風呂水や貯めた雨水を使うとエコになります。

家事・子育てを
しっかりシェア

奥のワークライフバランスを実現しましょう。

マイバッグ・
マイボトルを使用

コンビニでも使えます。

町内の消防団活動に参加
京町家を守る取組

カフェにも生まれ変わっています。

プラスチックストローを
使わない

喫茶店でも取組が始まっています。

~日常の何気ない取組も実はSDGs！より深めていきましょう~



市内産木材の間伐材を使用し、障害のある人の手で仕上げられたSDGsバッジ



「はあと・フレンズ・ストア」

京都市中京区新京極通四条上る中之町
電話：075-221-8033
FAX：075-221-8118
URL: <http://kyoto-heartfriends.com/>
インターネットでも購入できます。



京都市オリジナルのSDGs普及啓発グッズを作成しようと始まったプロジェクト。

バッジ自体がSDGsに貢献するものによしと、原材料には市内産木材(みやこ杉木)を使用し、市内障害者就労支援事業所にバッジのピン付け・袋詰め作業をお願いし、授産製品のセレクトショップ「はあと・フレンズ・ストア」で販売しています。

「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念や、「8 働きがいも経済成長も」、「15 陸の豊かさを守ろう」などのゴールに沿った素敵な商品となりました。

SDGs先進度全国1位の評価をいただきました！

日本経済新聞社が全国815市区を対象に74もの指標で評価した「全国市区・持続可能度・SDGs先進度調査」において全国1位に輝きました。

- 主な評価項目
- 子育て支援・教育
 - 防災・減災
 - 公共交通の利便性向上
 - 1人当たりのごみ排出量
 - 1人当たりの自動車CO2排出量

- 京都での取組例
- 5年連続で保育所待機児童ゼロを達成
 - 市立小中学校の普通教室の冷房設置率100%
 - 全国学力・学習状況調査(市立小学校)が政令指定都市1位
 - 総エネルギー消費量がピーク時から約3割減
 - ごみの量がピーク時から半減
 - 四条通の歩道拡幅などにより、自動車交通量が約4割減 等